アンケート結果

オフラインキャンプ！
～デジタルデトックスで深まる親子の絆～

7月19日～20日
須佐湾エコロジーキャンプ場

主催：一般社団法人 萩青年会議所
後援：萩市教育委員会、阿武町教育委員会
助成：公益財団法人 河村芳邦青少年育成記念財団
協力：山口県漁業協同組合高山支店

「オフラインキャンプ」アンケート結果
考察と総括

内容	アンケート結果
❶デジタル機器の使用について	４ページ
❷事業全般について	５～６ページ
❸オフラインキャンプ実施前後での変化について	
【保護者】（指標）	７～８ページ
【子供】（指標）	９～１０ページ
【保護者】（記述）	１１～１５ページ
【子供】（記述）	１６～２０ページ
❹オフラインキャンプ後の生活について	２１ページ
❺感想について	２２ページ
❻応募に関して	２４ページ

※❺❻は参考情報とし考察なし

事業目的

１．健全な育成を図る

青少年たちにデジタル機器を排除した環境を提供することで、デジタル機器と人との付き合い方を見直すとともに、自身で考える力や生きる力を養い、健全な育成を図る。また、身近な存在である保護者も同じ環境で過ごすことで、子供と向き合う時間を設け、子供との付き合い方を見直す契機とする。

２．郷土愛の醸成

青少年たちに地域の魅力を知ってもらうことで、生まれ育った地域への愛着を抱いてもらう。

考　　察

❶デジタル機器の使用について

全参加者がスマートフォンをはじめとするデジタル機器を使用しており、スマートフォンについては、すべての保護者、小学生の７割以上、中学生の５割が使用している状況にあった。また、小学生についてはゲーム機器の使用、中学生についてはタブレットの使用が多い傾向にあった。

子供においては、保護者のスマートフォン等を使用する場合もあるが、全参加者がデジタル機器を日常的に使用し「ネット依存」が懸念される状況にあると考える。

❷事業全般について

全参加者が「親子でデジタルデトックス」と「親子の絆」を深めることができた。また、「オフラインキャンプ」の満足度についても、全参加者から「とても満足した」との回答を得ることができた。

❸オフラインキャンプ実施前後での変化について

デジタル機器と人との付き合い方の見直し

事業実施前において、保護者は６割以上がデジタル機器の使用に悪影響を感じてい

るのに対し、子供は2割弱と少ない状態であった。

事業実施後は、保護者の7割以上がデジタル機器の使用頻度を見直す必要があると回答し、子供の 9 割以上が「オフラインキャンプ」は、デジタル機器、そして人（家族を含む）と上手く付き合えるきっかけとなったと回答している。

「オフラインキャンプ」、また「ネット依存を含むインターネット上の危険性を学ぶ座学」を通じて、デジタル機器と人との付き合い方を見直すことができ、デジタル機器、そして人（家族を含む）と上手く付き合えるきっかけを生み出すことができたと考える。

自身で考える力や生きる力を養う

事業実施前において、保護者の半数はスマートフォンやパソコンなどに頼らずに、自分で考える力や生きる力があるかは言えない状態に対し、子供の半数は自分で考える力や生きる力があると回答していた。

しかし、事業実施後は、保護者を含めた全参加者が私生活でも自分で考えることを大切にし、オフライン環境でも生活できる（自分で考える力や生きる力が養えた）と回答した。

普段はスマートフォンなどを頻繁に活用するところ、オフライン環境で生活することで、自身で考える力や生きる力を養うことができたと考える。

青少年の健全な育成について

事業実施前において、約3割の保護者が、子供が健全な成長をしていると回答している一方、約4割の保護者は子供の健全育成に不安を抱いていた。

しかし、事業実施後には、全保護者が「オフラインキャンプ」が健全に成長していくきっかけとなったと回答している。

「オフラインキャンプ」、また「ネット依存を含むインターネット上の危険性を学ぶ座学」を通じて、デジタル機器との適切な付き合い方を学び、オフライン環境でも楽しく過ごした経験により、青少年の健全な育成を図ることができたと考える。

家族時間について

事業実施前において、保護者と子供の半数が、家族との時間を作り、デジタル機器ではなく家族と向き合っていると回答した一方、残りの半数は家族との時間を作ることができていない、またはどちらともいえない状態であった。

そして、事業実施後には、すべての保護者と子供が、これまでよりも家族時間を作ろうと思うと回答している。

「オフラインキャンプ」でデジタル機器を使用する時間をなくし、家族時間を創出したことで、今後の生活においても、家族時間をさらに作り、親または子供と向き合うきっかけとなったと考える。

子供または親との付き合い方を見直す契機について

事業実施前において、6 割以上の保護者が子供との付き合い方（会話がない、一緒

に行動しないなど）を見直す必要があると回答しているのに対し、子供は 1 割程度しか親との付き合い方を見直す必要性を感じていなかった。

しかし、事業実施後には、すべての保護者が「オフラインキャンプ」が子供との付き合い方を見直すきっかけとなったと回答しており、さらに８割以上の子供も同様の回答となった。

「オフラインキャンプ」で家族時間を創出したことで、オフライン環境だからこそ普段よりもコミュニケーションを図ることができ、子供または親との付き合い方を見直す契機となったと考える。

郷土愛の醸成について

事業実施前において、すべての子供が自分の暮らしている地域（萩市）を好きと回答しており、ある程度は郷土愛を抱いていることが分かった。そして、事業実施後には、地元をより好きになったと回答している。

「オフラインキャンプ」で、須佐湾での生き物探索や地域の特産である「須佐男命いか」との触れ合い・試食を実施したことで、すべての子供が地域の魅力を知り、より郷土愛を醸成することができたと考える。

❹オフラインキャンプ後の生活について

「オフラインキャンプ」後の私生活でも、すべての親子において、デジタル機器の使い方・付き合い方に関して、意識と行動の変化や新たなルール等の設定・見直しなどの改善が見られたほか、家族時間についても積極的に家族で過ごそうとする親子が多く見受けられた。

また、他の家庭でのデジタル機器の使用状況を聞き、自身の家庭でもルール等を取り入れる親子や、「オフラインキャンプ」と同様にデジタル機器を保管する生活を試みた親子、本事業をきっかけに知り合った親子とその後も交流された参加者もいた。

「オフラインキャンプ」の効果は、事業期間のみならず、その後の生活においても継続し、個人や家族に留まらず、他所にも波及していると考えられる。

総　　括

夏休みの開始に伴い、子供の「ネット依存」が懸念される中、「オフラインキャンプ」（デジタル機器を排除した環境）の開催により、事業期間中と、その後の私生活においても、事業目的であった「健全な育成」と「郷土愛の醸成」について、目的を達成できたと考えます。

また、予定していた目的以外にも、子供たちが自発的に他地域（他校区）の子供と積極的に交流したことで、コミュニケーション能力の向上が図れたほか、子供同士でアナログな遊びを率先してするといった主体性も養うこともできました。

改めて、本事業の開催にあたりご支援ご協力いただきました関係機関の皆様に感謝申し上げます。

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【全参加者】
～ ❶デジタル機器の使用について ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：30人

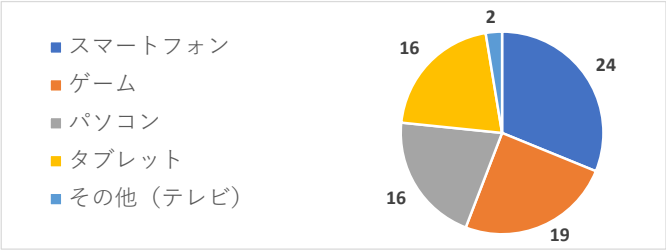
普段使用しているデジタル機器

※保護者が所有している機器の使用を含む

❶-１ 普段使用しているデジタル機器をお選びください

項目	回答数	割合
スマートフォン	24	80.0%
ゲーム	19	63.3%
パソコン	16	53.3%
タブレット	16	53.3%
その他（テレビ）	2	6.7%
使用していない	0	0.0%

※選択肢から複数回答



「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❶デジタル機器の使用について ～

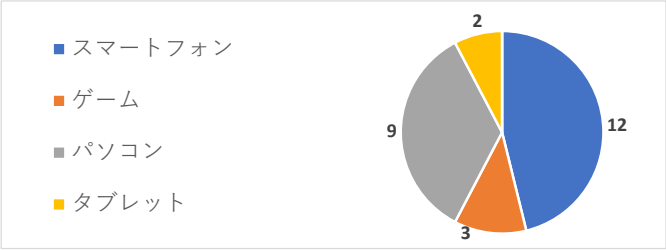
実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

普段使用しているデジタル機器

❶-２ 普段使用しているデジタル機器をお選びください

項目	回答数	割合
スマートフォン	12	100.0%
ゲーム	3	25.0%
パソコン	9	75.0%
タブレット	2	16.7%
その他	0	0.0%
使用していない	0	0.0%

※選択肢から複数回答



「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❶デジタル機器の使用について ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

普段使用しているデジタル機器

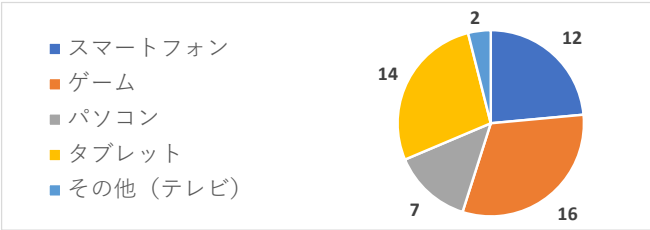
※保護者が所有している機器の使用を含む

❶-３ 普段使用しているデジタル機器をお選びください

子供全体

項目	回答数	割合
スマートフォン	12	66.7%
ゲーム	16	88.9%
パソコン	7	38.9%
タブレット	14	77.8%
その他（テレビ）	2	11.1%
使用していない	0	0.0%

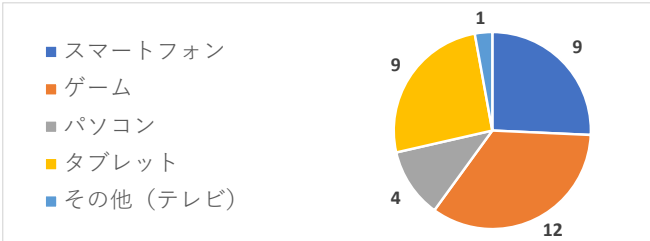
※選択肢から複数回答



小学生（3～6年生）

項目	回答数	割合
スマートフォン	9	75.0%
ゲーム	12	100.0%
パソコン	4	33.3%
タブレット	9	75.0%
その他（テレビ）	1	8.3%
使用していない	0	0.0%

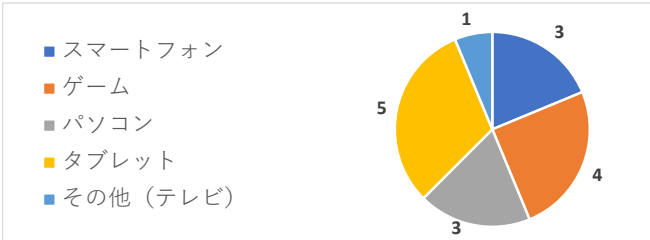
※選択肢から複数回答



中学生（1～3年生）

項目	回答数	割合
スマートフォン	3	50.0%
ゲーム	4	66.7%
パソコン	3	50.0%
タブレット	5	83.3%
その他（テレビ）	1	16.7%
使用していない	0	0.0%

※選択肢から複数回答



「オフラインキャンプ」アンケート結果 【各班】
～ ❷事業全般について ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：10班（保護者1人が班を代表して回答）

デジタルデトックス

❷-1 親子で「デジタルデトックス」はできましたか？

項目	班数	割合
できた	10	100.0%
できなかった	0	0.0%
	10	**100.0%**

親子の絆

❷-2 「親子の絆」は深まりましたか？

項目	班数	割合
深まった	10	100.0%
深まらなかった	0	0.0%
	10	**100.0%**

❷-3 「オフラインキャンプ」で気になった点や改善点はありますか？

1	運営の方がとても親切で頼もしかった。
2	炎天下の中、スタッフさんが休めているか少し心配になりました。
3	スマートウォッチは付けてても良かったかなーと思いました。時計を長い時間借りてしまい申し訳ありませんでした。ありがとうございました。
4	運営の方が、色々と細部にわたり配慮してくださり、キャンプの楽しいところを濃縮して体験させていただき、本当にありがたかったです。していただきすぎて申し訳なかったので、準備や片づけなど、もっと参加者でもできることがあれば、ぜひやらせていただければと思います。
5	参加者全員がテントで泊まれる環境（季節）に開催してほしいです。
6	夜ごはんの時の蚊が嫌だった。
7	特にありません。
8	特に無し。皆さん良くして下さいました。
9	特にありません。
10	タイトなスケジュール（一日目）。しかし終えてみて、あえてタイトなスケジュールを組んであるのかも（デジタル機器のことを思い出さないように？）と想像したりもしました。休憩時間がもう少し欲しかったです。

❷-4 今後、同じような「オフラインキャンプ」のイベント、または「デジタル機器との付き合い方」をテーマにしたイベントで、実施してみたい内容はありますか？

1	自然体験
2	モルック、キャンプご飯、化学実験、同じメンバーでの継続イベントの会
3	図鑑または野草辞典的なものを見ながら野草採集＆調理
4	自然体験、親子講座
5	萩の良さを体感できる場所はまだまだあると思うので、体験型学習をしたいです。
6	バーベキュー、ソリやスノーボード、公園で遊んだりどんぐりひろい、プール、防災に関すること、昔の遊び、食育、ウォークラリー
7	竹ハンゴウでご飯炊き。竹で食器や箸作り。
8	自然体験
9	魚釣り
10	花火、モルックのようなゲーム（ボッチャや卓球バレーなど普段しないスポーツ） または、萩を愛する萩市樹木医の草野さんとJCさんがタイアップし、プログラムのひとつに明神池近くの風穴のところで草野さんに担当していただくとか。今回鬼村さんが担当された海の生き物観察の部分のメイン体験のバリエーションが広がるといいなと思いました。

❷-5 親子で手紙交換をしてみて、気づいた点や得られたものはありましたか？

1	意外と考えていおり驚きました。
2	普段しない手紙交換ということをしてみて貴重な体験だなと思いました。
3	文章をきちんと書けることに感心しました。また、仕事で遅くなることも多いので、手紙を介したコミュニケーションを今後もできたらいいなと思います。
4	子供からの手紙にいつもゲームのことで怒られると書いてあり、ゲームをやめさせるのに怒るばかりで、親の努力も足りなかったなと反省しました。
5	親の言動をよく見ているんだなと感心しました。
6	子どもより、親の方がスマホ依存していることに気づきました。
7	お互いに普段言えない感謝の気持ちを伝えることができました。
8	親の意外な所を見ていて面白かったです。
9	特にありません。
10	長女より、深く愛されていることがわかりました。改めて言葉にされてうれしかったです。子供三人をまとめて封筒に入れてごめんね！二日目に参加できなかったことを本当に残念に思います。不規則な参加の仕方でしたが、参加家族に選んでいただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【各班】
～ ❷事業全般について ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：10班（保護者1人が班を代表して回答）

❷-6 今後、萩青年会議所（萩JC）で実施してほしいイベントはありますか？

1	外で体を動かすイベント
2	JCの建築関係の方に、建物の構造のお話しを講座してもらい、設計図を描いたうえで、ヘクセンハウス作りのイベントをする。
3	初心者にも優しい釣りイベント
4	子供対象の体験型イベント
5	子供たちが萩を好きになれるような、萩を知ってもらえるような企画を！
6	オフラインキャンプ（秋か冬）
7	登山イベント
8	オフラインキャンプは継続開催してもらいたいです。
9	現時点で十分良い事業を実施されていると思います。
10	今回ご一緒させていただいて、青年会議所の皆さまが様々なところで活躍されていることを知りました。わくわく交歓会にボランティアで参加した娘たちが、オフラインキャンプのスタッフの方がいらっしゃったと教えてくれました。地域に貢献する大人の姿を見せていただき、ありがとうございます。

❷-7 今後、同様の宿泊（1泊2日3食付）イベントがある場合、参加費はどのくらいが妥当と考えますか？

1	今回の価格で、気軽に参加できると思います。
2	大人3000円、子供1000円？だと参加しやすいです。
3	大人5000円、子供2500円
4	大人4000円、子供2500円
5	大人3000円、子供1500円が妥当なのかと。
6	希望：大人3,000円、子供2,000円　現実：大人7,000円、子供3,000円　子供3人目からは1,000円安いなどの特典
7	大人3000円、子供1500円
8	概ね妥当。お手頃な参加費だと思う。
9	大人6000円、子供3000円
10	必要経費をお支払いしたいです。ただ、安価なら参加希望は多いかもしれません。 また、他市のママ友がオフラインキャンプを知って、とてもうらやましそうでした。ほかにも申込を迷っていたママ友もいました。家族だけではできないきっかけづくり、本当にありがたいです。

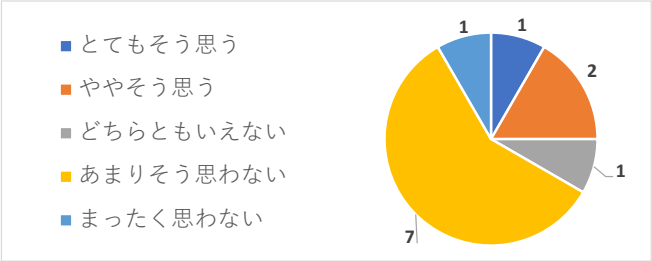
「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（指標） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

デジタル機器と人との付き合い方の見直し

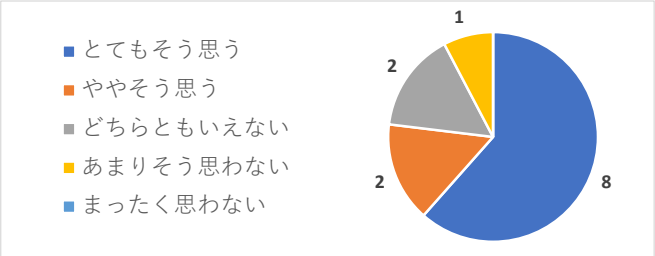
（オフラインキャンプ実施前）
❸-1 現在、私はデジタル機器の使用で健康や人間関係（家族を含む）に悪影響はない

項目	人数	割合
とてもそう思う	1	8.3%
ややそう思う	2	16.7%
どちらともいえない	1	8.3%
あまりそう思わない	7	58.3%
まったく思わない	1	8.3%
	12	**100.0%**



（オフラインキャンプ実施後）
スマホやゲームなどのデジタル機器の使用頻度を見直す必要があると感じた

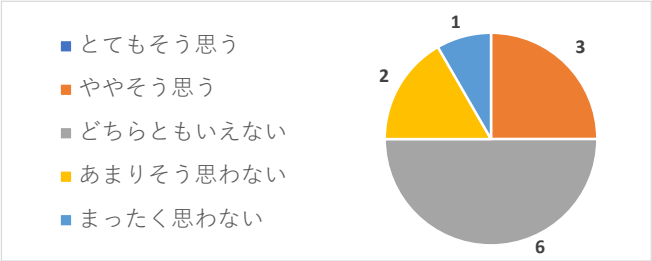
項目	人数	割合
とてもそう思う	8	61.5%
ややそう思う	2	15.4%
どちらともいえない	2	15.4%
あまりそう思わない	1	7.7%
まったく思わない	0	0.0%
	13	**100.0%**



自身で考える力や生きる力を養う

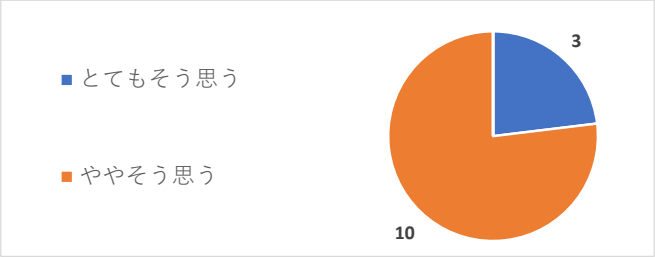
（オフラインキャンプ実施前）
❸-2 現在、私はスマホやパソコンを使わずに、自分で考える力や生きる力がある

項目	人数	割合
とてもそう思う	0	0.0%
ややそう思う	3	25.0%
どちらともいえない	6	50.0%
あまりそう思わない	2	16.7%
まったく思わない	1	8.3%
	12	**100.0%**



（オフラインキャンプ実施後）
❸-3 今後、私は私生活でも自分で考えることを大切にし、オフライン環境でも生活できる（自分で考える力や生きる力が養えた）

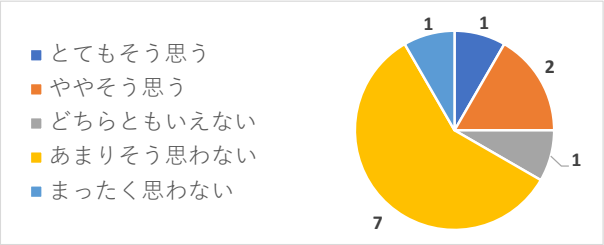
項目	人数	割合
とてもそう思う	3	23.1%
ややそう思う	10	76.9%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	13	**100.0%**



青少年の健全な育成

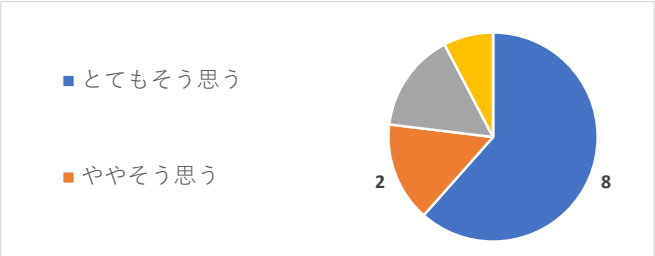
（オフラインキャンプ実施前）
❸-4 現在、子供はデジタル機器と適切に付き合い、健全に成長している

項目	人数	割合
とてもそう思う	1	8.3%
ややそう思う	3	25.0%
どちらともいえない	3	25.0%
あまりそう思わない	3	25.0%
まったく思わない	2	16.7%
	12	**100.0%**



（オフラインキャンプ実施後）
❸-5 「オフラインキャンプ」は、今後、子供がデジタル機器と適切に付き合い、健全に成長していく、きっかけとなった

項目	人数	割合
とてもそう思う	10	76.9%
ややそう思う	3	23.1%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	13	**100.0%**



「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（指標） ～

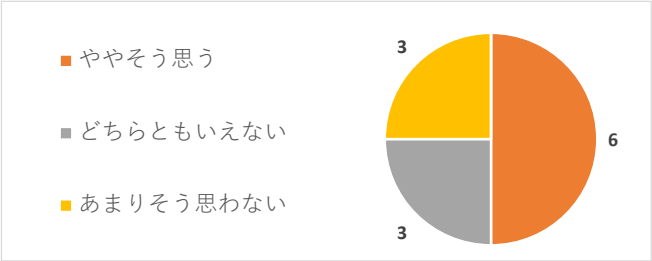
実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

家族時間

（オフラインキャンプ実施前）

❸-6 現在、私は家族との時間をちゃんと作ることができている（スマホやゲームなどのデジタル機器ばかりを見ずに家族時間を作っている）

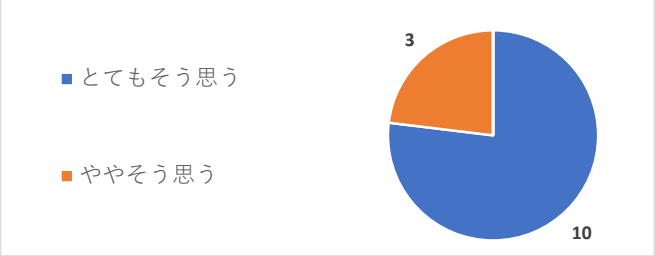
項目	人数	割合
とてもそう思う	0	0.0%
ややそう思う	6	50.0%
どちらともいえない	3	25.0%
あまりそう思わない	3	25.0%
まったく思わない	0	0.0%
	12	**100.0%**



（オフラインキャンプ実施後）

❸-7 これまでよりも、私は家族との時間を作ろうと思う（「オフラインキャンプ」が子供との時間を作るきっかけになった）

項目	人数	割合
とてもそう思う	10	76.9%
ややそう思う	3	23.1%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	13	**100.0%**

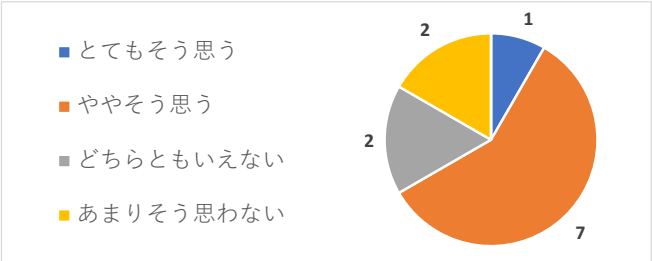


子供との付き合い方を見直す契機

（オフラインキャンプ実施前）

❸-8 現在、私は子供との付き合い方を見直す必要がある（会話がない、一緒に行動しないなど）

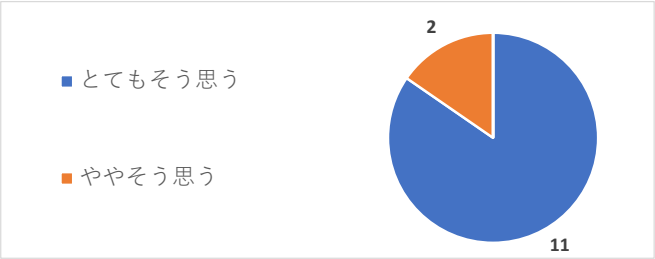
項目	人数	割合
とてもそう思う	1	8.3%
ややそう思う	7	58.3%
どちらともいえない	2	16.7%
あまりそう思わない	2	16.7%
まったく思わない	0	0.0%
	12	**100.0%**



（オフラインキャンプ実施後）

❸-9 「オフラインキャンプ」は、子供との付き合い方を見直すきっかけとなった（元々、見直そうと思っていた人は、さらに強く思った）

項目	人数	割合
とてもそう思う	11	84.6%
ややそう思う	2	15.4%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	13	**100.0%**



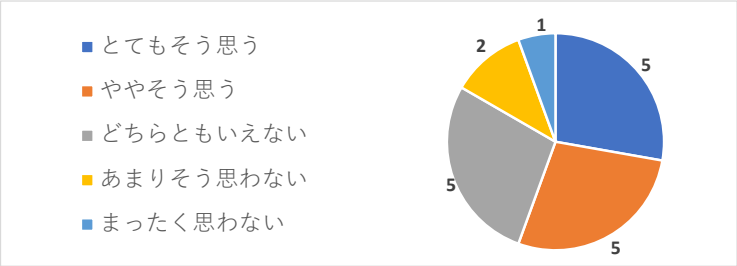
「オフラインキャンプ」アンケート結果　【子供】
～　❸オフラインキャンプ実施前後での変化（指標）　～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

デジタル機器と人との付き合い方の見直し

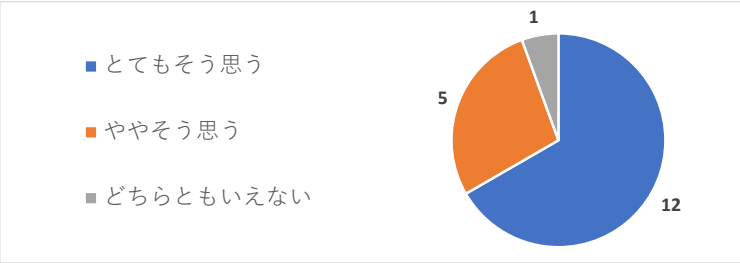
（オフラインキャンプ実施前）
❸-10 現在、私はデジタル機器の使用で健康や人間関係（家族を含む）に悪影響はない

項目	人数	割合
とてもそう思う	5	27.8%
ややそう思う	5	27.8%
どちらともいえない	5	27.8%
あまりそう思わない	2	11.1%
まったく思わない	1	5.6%
	18	100.0%



（オフラインキャンプ実施後）
❸-11 「オフラインキャンプ」は、私がスマホやゲームなどのデジタル機器、そして人（家族含む）と上手く付き合えるきっかけとなった

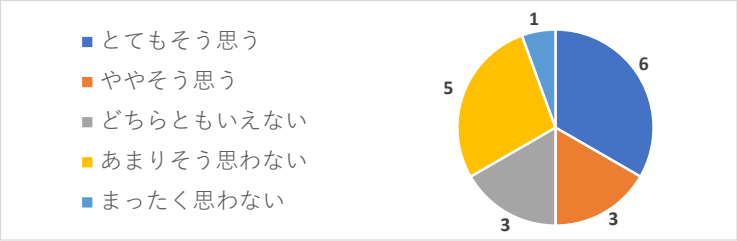
項目	人数	割合
とてもそう思う	12	66.7%
ややそう思う	5	27.8%
どちらともいえない	1	5.6%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	18	100.0%



自身で考える力や生きる力を養う

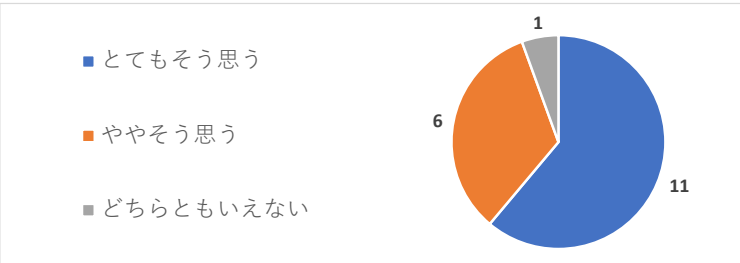
（オフラインキャンプ実施前）
❸-12 現在、私はスマホやパソコンを使わずに自分で考える力や生きる力がある

項目	人数	割合
とてもそう思う	6	33.3%
ややそう思う	3	16.7%
どちらともいえない	3	16.7%
あまりそう思わない	5	27.8%
まったく思わない	1	5.6%
	18	100.0%



（オフラインキャンプ実施後）
❸-13 今後、私は私生活でも自分で考えることを大切にし、オフライン環境でも生活できる（自分で考える力や生きる力が養えた）

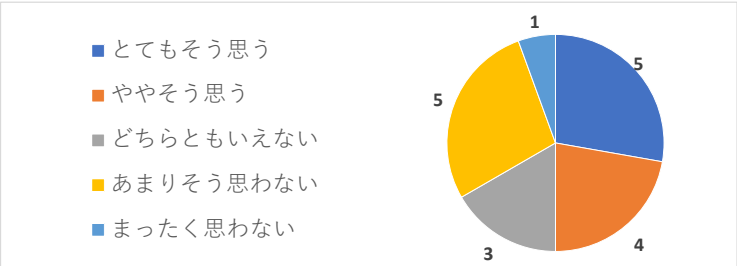
項目	人数	割合
とてもそう思う	11	61.1%
ややそう思う	6	33.3%
どちらともいえない	1	5.6%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	18	100.0%



家族時間

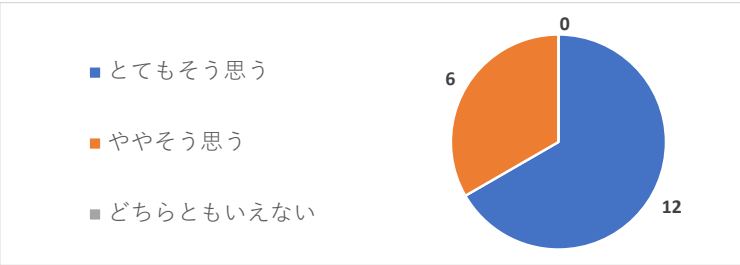
（オフラインキャンプ実施前）
❸-14 現在、私は家族との時間をちゃんと作ることができている（スマホやゲームなどのデジタル機器ばかりを見ずに家族時間を作っている）

項目	人数	割合
とてもそう思う	5	27.8%
ややそう思う	4	22.2%
どちらともいえない	3	16.7%
あまりそう思わない	5	27.8%
まったく思わない	1	5.6%
	18	100.0%



（オフラインキャンプ実施後）
❸-15 これまでよりも、私は家族との時間を作ろうと思う（「オフラインキャンプ」が親との時間を作るきっかけになった）

項目	人数	割合
とてもそう思う	12	66.7%
ややそう思う	6	33.3%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	18	100.0%



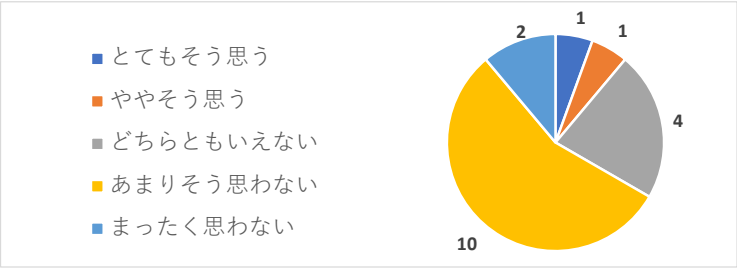
「オフラインキャンプ」アンケート結果　【子供】
～　❸オフラインキャンプ実施前後での変化（指標）　～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

親との付き合い方を見直す契機

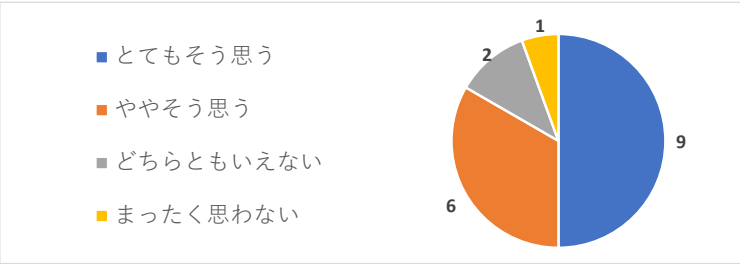
（オフラインキャンプ実施前）
❸-16 現在、私は親との付き合い方を見直す必要がある（会話がない、一緒に行動しないなど）

項目	人数	割合
とてもそう思う	1	5.6%
ややそう思う	1	5.6%
どちらともいえない	4	22.2%
あまりそう思わない	10	55.6%
まったく思わない	2	11.1%
	18	100.0%



（オフラインキャンプ実施後）
❸-17 「オフラインキャンプ」は、親との付き合い方を見直すきっかけとなった（元々、見直そうと思っていた人は、さらに強く思った）

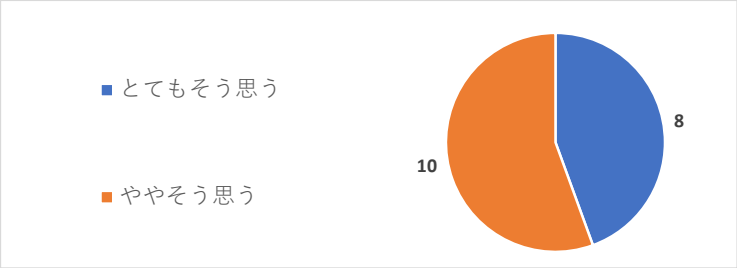
項目	人数	割合
とてもそう思う	9	50.0%
ややそう思う	6	33.3%
どちらともいえない	2	11.1%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	1	5.6%
	18	100.0%



郷土愛の醸成

（オフラインキャンプ実施前）
❸-18 私は自分が暮らしている地域（萩市）が好き

項目	人数	割合
とてもそう思う	8	44.4%
ややそう思う	10	55.6%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	18	100.0%

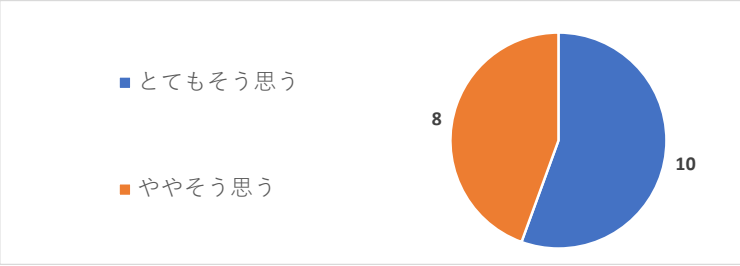


（オフラインキャンプ実施後）
❸-19 「オフラインキャンプ」で地域（須佐）の魅力を知ることができましたか？

項目	班数	割合
できた	10	100.0%
できなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
	10	100.0%

（オフラインキャンプ実施後）
❸-20 今回のキャンプで地域の魅力を知り、地元をもっと好きになった。または、自分が暮らしている地域も同じ魅力があり、地元をもっと好きになった

項目	人数	割合
とてもそう思う	10	55.6%
ややそう思う	8	44.4%
どちらともいえない	0	0.0%
あまりそう思わない	0	0.0%
まったく思わない	0	0.0%
	18	100.0%



「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

（オフラインキャンプ実施前）

❸-21 私生活でひまな時間に、何をして過ごしているか（スマホやパソコン使用の場合、何をしているか記入）

A	ついついスマホを見てしまう
B	インスタグラム、Facebookをながめる。Youtubeを見る。散歩、片付け。
C	動画を見る
D	スマホでニュースを見る。テレビ、読書。
E	スマホで読書やニュースを見る。ゲーム。
F	スマホでYoutubeを見たり、ゲーム。読書。
G	スマホ、テレビ。
H	スマホでYoutubeを見ている。
I	スポーツやネットニュースを見ている。
J	読書、音楽・オーディブル、家事、片付け。ネットショッピング、オンライン記事を読む。
K	未記入
L	横になると寝てしまう。ひまがあまりない。

（オフラインキャンプ実施後）

❸-22 ひまな時間に、ネットやゲーム（デジタル機器の利用）以外で、何をして過ごすか記入（キャンプで気づいた過ごし方も含む）。

A	家族で体を動かすことが大切だと思った。
B	火おこし、クッキング、何もしなくても一緒にボーっとする。
C	トランプ、工作
D	子供と一緒に体を動かしたり、カルタ等の遊びをしたいと思います。
E	外の風景の中に何があるかなど話し合えると思いました。ひまな時は周りを見て何があるか考えるのも良いなと思いました。
F	読書、スポーツ
G	自然の中で過ごす。室内でカルタ、子供と一緒に料理
H	家族で話したり、料理をしたい。
I	家族と団らんをしたり、本を読んだり、ネットにアクセスする以外の時間をもっと多くとるようにしたいと思った。
J	カードゲーム、ボードゲーム等のアナログゲーム、読書、屋外（自然の中）で過ごす
K	外で遊ぶ時間や次の日の準備など
L	ひまな時間をつくるとネットやゲームにいくので、食事作りなどを家族で丁寧にする。
M	読書、買い物

※Mさんは事情により2日目から参加

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

（オフラインキャンプ実施前）

❸-23 ネットやゲームによる悪影響として感じている点

A	無意識のうちに、スマホを見てしまう。姿勢も悪くなっている気がする。
B	使い続けると、目・体が疲れ、無気力になる。
C	子供にとって、使う言葉に影響が強い。情報で頭がいっぱいになっている。
D	家族の会話が少なくなる。
E	子供が、ゲームやスマホがない時間をヒマと捉え、他に遊ぶことが思いつかず、すぐにゲームやスマホをしたがる中毒性。また、Youtubeなどで良くない言葉を、意味がよく分かってないのに使っている時。
F	時間を忘れて没頭してしまう。寝不足になる。
G	視力が悪くなる
H	必要以上に時間を無駄にしている。
I	リアルなコミュニケーションが少なくなる。
J	過集中、運動不足
K	未記入
L	自分の世界が広がる面の反面、興味がある部分のみ没頭してしまう。

（オフラインキャンプ実施後）

❸-24 ネットやゲームなどのデジタル機器の利用から離れ、良かった点や辛かった点

A	いろいろなプログラムが用意してあり、スマホが無いと感じる暇はなかった。
B	LINEが来ていないか？等、意識はしていなかったが、義務のようになっていたことに気が付いた。スマホ等と離れると時間がゆっくり流れるように思う。1つ1つの出来事がぎゅっと濃い思い出になって良かった。辛い点はなかった！
C	せっかく須佐に来たので、良いお店を調べようと思ったときに、スマホがなく諦めました。でも、その分、子供との時間が増え、早く寝ることができ良かったです。
D	辛かった点はありません。子供と話したり、スキンシップの時間が増えて良かったです。
E	ゲームやネットから離れ、思考がクリアになった気がします。インスタントカメラも良かったですが、瞬時に写真を撮れなかった時が少し辛かったです。
F	自分や子供、家族のことを考える時間をとることができた。また、スマホ等が無くてもどうにかなることに気が付けたことが良かったです。
G	子供との会話が増えた。ふと時間確認、天気がこれからどうなるか、漢字調べ、一息ついた時の暇つぶしで、スマホが見れなかったのが辛かった。
H	スマホやゲームがなくても楽しい時間が過ごせた。
I	海での生き物探しや炊事など、分からない事があるとすぐにネットで調べたりしていたが、ネットがなくても何とかなると感じた。
J	風の心地よさ、海のキレイさを再確認できたのが良かったです。辛かったことはなし。
K	ボーっとスマホを見る時間が無くなり、代わりにやる事を自ら考えて行えるようになった。
L	スマホ等と離れてすっきりした。意外と辛くなかった。
M	心なしか疲れにくくなったように思う

※Mさんは事情により2日目から参加

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

（オフラインキャンプ実施前）

❸-25 今回のキャンプを通じて得たいもの

A	初めてのキャンプなので、楽しみたい。また、せっかくの親子での時間なので、子供の意外な一面を発見したい。
B	みんなで同じ方向を向いて、物事に取り組み、達成感を味わう！スマホなしで、どれだけじっくり取り組めるか実感する！
C	動画にはない、生きた体験をしたい・させたい！
D	スマホ・ゲームがない生活を親子で体験して、今後きちんとメディアコントロールできるようになりたい。
E	子供にゲームやスマホ以外でも楽しい楽しい事を見つけてほしい。また、ゲーム以外でできる事を増やして、自信を持ってほしい。
F	初対面の人とのコミュニケーションスキルを高めたい。
G	デジタル無しでの楽しい思い出
H	子供との対話の時間
I	自然の中での生活
J	自然を感じる感性
K	未記入
L	子供の目線から物事を見たり、考えてみたり感じたりしたい。

（オフラインキャンプ実施後）

❸-26 今回のキャンプを通じて、❶講座❷オフライン体験(モルック・生き物探索・キャンプ)❸家族時間 で得られたもの

A	❶地元を好きになること❷スマホが無くても生きていける❸親子の絆が強まった
B	❶ネット依存の中高生が多い事を知れた❷初モルックでこんなに楽しいとは?!みんなでわいわい生き物探索も楽しい！時間をかけて出来たご飯はめっちゃ美味しい！❸子供たちが何かと作って食べさせてくれた。きっといつも同じ気持ちなのだけど気付けず、子供たちの愛を改めて実感した。
C	❶SNS等で文面による誤解を生まないために、表現を気を付ける等❷親がでしゃばりすぎないようにしていたが、たくさん褒めてあげることができた。❸同上
D	❶ネット社会の怖さが分かりました❷自分で調べることの大切さ、体験することの楽しさを学べました❸スマホ・ゲームが無くても子供と一緒に何かすることで、親子ともに心穏やかで楽しい時間を過ごせることが分かった
E	❶インターネットの他人からの害などはある程度知っていた思いますが、まだまだ考えつかない恐ろしい事があること、感情等への害があることを知れて良かったです❷モルックは体を動かすものかと思ったら、なかなか頭脳戦の展開があり、見ていても楽しかった。生き物探索はたくさん発見があり楽しかった。❸夜は疲れてすぐ眠ってしまいましたが、とても楽しかったようで子供と色々話ができて良かったです。
F	❶SNSやデジタル機器そのものが悪いのではなく、その使い方を考えることが大切であること❷地元の海の良さを再発見できた。モルックはキットを購入してみたい❸良くも悪くもいつもどおりの時間が過ごせました
G	❶スマホ使用のルールの見直しが必要。親も一緒にオフにすることに気づいた❷海は子供が積極的に生き物を探していたことに驚いた。また、子供が火おこしに興味があり、マッチの扱い方が分かったことが良かった❸会話が増えた
H	❶記載なし❷生き物探索で、図鑑で調べたり絵を書いたり良い時間・経験だった❸食事作りが良い経験でした
I	❶ネットやSNSで不用意な発言でどれだけ大きなリスクが発生するか再確認できた❷子供に自然を通じて自発的な行動力を身に付けることができた❸子供と会話する時間も自然と増えた
J	❶デジタルのデメリットについて再確認できた❷モルックは初めてでしたが、楽しめた。生き物探索は子供が意外と夢中になっていたのが良かった。焼きマシュマロの美味しさ、美味しい食べ方が知れてよかった❸オフラインでも十分楽しめることが経験・実感できたのがよかった
K	❶SNSのデメリットや注意すべき点など学ぶ事ができた❷記載なし❸記載なし
L	❶知識が増えた❷ゆっくり丁寧に暮らすこと❸記載なし
M	❶欠席（途中参加のため）❷子供と協力すること、感動を分かち合うこと❸記載なし

※Mさんは事情により2日目から参加

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

（オフラインキャンプ実施前）

❸-27 家族（親・子ども）との向き合い方で改善したい点

A	なし
B	くぎを刺す言葉を使わず、柔らかい言葉をつかう。話を聞く時は、相手の目をみて、体を向けるようにしたい。
C	会話が子から母への一方通行が多い。話を聞けるようになってほしい。
D	ゲームをしすぎる、スマホを見すぎることで、会話がなくなってしまっている時間を反省し、今後、その時間をコミュニケーションにあてていきたい。
E	子供がゲームを中々やめない時に、ついつい怒ってしまうので、きちんとお互いに話し合っていきたい。
F	親子ともインドア傾向のため、家族できるアウトドアの趣味を探したい。
G	なし
H	一緒にいる時間を増やしたい。
I	家族とのコミュニケーションの時間を増やしたい。
J	一緒に遊ぶこと、楽しむこと、時を過ごすこと楽しみたい。
K	未記入
L	いつも家では指示してばかりなので、待ったり、考えさせたり、関わり方を工夫したい。

（オフラインキャンプ実施後）

❸-28 今回のキャンプを通じて、今後の生活でデジタル機器の使い方や家族時間で改善したいと思った点

A	ダラダラ使うのではなく、上手に付き合っていくことが大切だと思った。
B	お出かけ途中のゲーム・Youtubeは、同じものを共有できる時間が減るので、一緒に料理をするなど、もっとじっくりやりたいと思いました。
C	トランプでの遊びをもう少しやっても良いと思った。
D	親自身も子供が起きている間は子供としっかり向き合い、スマホと離れたいと思います。（特にママ友や仕事LINEが入ると何よりもスマホを優先してしまっていたので）
E	少しの待ち時間に子供が「スマホをかして」と言ってくるのが気になるので、スマホの時間などよく話し合いたいと思います。
F	家族ルール（スマホ等の使用）の作成
G	家族でのスマホ等の使用に関するルール見直しが必要
H	何でもすぐにスマホに頼るのではなく、まず自分で考える事が大切だと思いました。
I	デジタル機器は利用しつつも、家族のコミュニケーションはしっかり持っていこうと思う。
J	1～数カ月に１回、もしくは半日単位でもデジタルデトックスの時間を持つようにしたいと思いました。また、自然の中に身を置くことで、自然とそういう時間を持てたらなと思いました。
K	1度、スマホを使いだすとダラダラと長時間使ってしまうので、時間を決め、やるべき事をやってから使用するなど、ルールを決める必要があると感じた。
L	子供との話し合いをする。親として譲れない線をもつ。便利さを大人が我慢する。
M	何気ない会話の大切さ

※Mさんは事情により2日目から参加

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【保護者】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：保護者13人（内1人は実施後のみ）

（オフラインキャンプ実施前）

❸-29 キャンプへの意気込みや、目標など

A	子供と2人だけで過ごす機会は少ないので、楽しみである。
B	全力で楽しむ！
C	スマホ・ゲームがなくても、楽しく過ごせる方法を知る、使えるようになる！
D	笑顔で2日間を過ごしたい。
E	自然の中を目一杯、楽しみたい。
F	モルックを楽しみたい！
G	楽しみたい！
H	スマホやゲームがなくても楽しく過ごせることを学びたい！
I	デジタルに頼らない生活を身に付けたい。
J	思いっきり楽しみたいです！
K	未記入
L	初めてのことが多いので楽しみです。

（オフラインキャンプ実施後）

❸-30 キャンプ全体を通しての感想

A	JC会員の皆様の地元を好きという思いがとても印象的で頼もしかった。
B	参加できて良かったです。他の参加者の方とも交流でき、JCの皆さんのご協力のもと、夏休みの良いスタートが切れてとても感謝しています。須佐のロケーションもとても良いです！萩がもっと好きになりました。ありがとうございました。
C	楽しかったです。
D	JCの皆様、ぜいたくで楽しい時間をつくってくださり、本当にありがとうございました。暑い中の準備、色々なお気遣いをいただいたおかげで、親子で一生の思い出となる素晴らしい、とても心豊かな2日間となりました。
E	色んなことを用意していただき、初めてのキャンプでしたが、困ることなく、ただただ楽しく勉強になる時間がいただけて、とても有難く楽しかったです。ありがとうございました。
F	気温と虫の関係で、テント泊から建物への宿泊に変更しましたが、テント泊は再挑戦してみたいです。
G	楽しかったです。また参加したい。初めチラシを見たときはスマホを預けるのかぁとひるみましたが、実際に過ごしてみて良かったです（これぐらいした方が良い！と感じました）
H	家族と過ごす時間が沢山とれて、とても楽しかったです！本当にありがとうございました！
I	他の家族の方々とも色々と話しをすることができたのは、とても良かったです。子供たちも年齢の近い子供たちと遊んで、とても楽しそうでしたので、また機械があれば参加したいと思います。
J	JCの方々の準備と心遣いが素晴らしかったです。とても気持ちよく過ごせた２日間でした。ありがとうございました。
K	第一に子供が喜べるイベントで、デジタル機器との付き合い方を見つめ直すきっかけにもなり、有意義な時間を過ごせました。JCの皆さん本当にお世話になりました。
L	家族だけではできない準備をありがとうございます。とても良い経験になりました。
M	アウトドアの経験が少ないため、楽しかったです。

※Mさんは事情により2日目から参加

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

（オフラインキャンプ実施前）

❸-31 私生活でひまな時間に、何をして過ごしているか（スマホやパソコン使用の場合、何をしているか）

A	ゲーム、テレビ、バレー、キャッチボール、マンガを読む、友達と遊ぶ
B	学童、スプラトゥーン（ゲーム）、マンガ、宿題
C	マンガ、スマホ（Youtube、LINEなど）、学童
D	ゲーム、動画
E	フォートナイト、スプラ（ゲーム）、Youtube
F	スマホでSNSを見て過ごしている。読書。
G	パソコンでYoutubeを見る
H	記載なし
I	ゲーム
J	スマホを見る
K	Youtubeを見ている
L	絵本、工作
M	記載なし
N	記載なし
O	記載なし
P	勉強、マンガなどの読書、妹や弟と遊ぶ
Q	妹弟と遊ぶ（同じ部屋で遊ぶ）、本を読む（小説）
R	読書、マイクラ（ゲーム）

（オフラインキャンプ実施後）

❸-32 ひまな時間に、ネットやゲーム（デジタル機器の利用）以外で、何をして過ごすか記入（キャンプで気づいた過ごし方も含む）

A	生き物をつかまえたり、怖い話をしたり、運動をする
B	外でバドミントン、かくれんぼ、おにごっこ
C	マンガ、友達と遊ぶ、かくれんぼ、料理
D	カードゲーム、工作、絵
E	カルタ
F	読書、外遊び
G	工作、宿題
H	折り紙
I	ホットドッグ（キャンプの朝食）をまた作りたい
J	絵をかく
K	マンガを読む
L	絵本
M	記載なし
N	カードゲーム
O	記載なし
P	みんなでしゃべる、外で遊ぶ
Q	姉弟と遊ぶ！外でおにごっこをする。
R	読書

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

（オフラインキャンプ実施前）

❸-33 ネットやゲームによる悪影響として感じている点

A	目が悪くなるかもしれない
B	少し使うだけでもママがキレる（5分以内）。妹がえんぴつで刺したり、やらなければいけないことをしない（家事等）。学校でズボンを下げてくる。
C	兄が八つ当たりしてくる、暴力が強まっている。
D	口が（言葉遣い）が悪くなる
E	健康に悪い
F	特になし
G	目が悪くなる
H	記載なし
I	特になし
J	夢中になる
K	目が悪くなる
L	特にない
M	記載なし
N	記載なし
O	記載なし
P	そんなに長い時間、使用したことがないけど、「10分だけ」と決めたのに、2～3分過ぎてることがある
Q	長時間ネットやゲームをしたことはない
R	記載なし

（オフラインキャンプ実施後）

❸-34 ネットやゲームなどのデジタル機器の利用から離れ、良かった点や辛かった点

A	友達や家族と遊ぶ時間が増えた
B	ひまな時間があること
C	触れ合う力が身についた
D	色々な体験ができて良かった。辛かったことはオンラインゲームのログインボーナスが心配。
E	デジタルデトックスが健康に良いこと。
F	料理を作る時、普段はスマホで調べるけど、自分の考えで作るようになったこと
G	家族の時間がつくれた
H	スマホがなくても楽しく遊ぶことができた
I	すぐに調べられなくて不便だったけど、身体が元気になったり、考える力が身についた
J	自己成長力が上がって良かった。ひまな時間が辛かった（でも良い）
K	外でたくさん遊んだこと
L	身体が楽になった
M	記載なし
N	目が休まった
O	記載なし
P	いつもより自然と触れ合え、新しい友達もでき遊べた。思ったりよりも辛くなかった。
Q	ネットやゲーム、スマホなどのデジタル機器を使わなくても家族や自然と触れ合うことで、自分で考える力がすごく養われたと感じる。辛かったことは特になし。
R	記載なし

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

（オフラインキャンプ実施前）

❸-35 今回のキャンプを通じて得たいもの

A	初めてのキャンプを楽しみたい
B	コミュニケーション能力をつけたい
C	ネットやゲームがなくても楽しいと思う気持ちをつける。コミュニケーション力をもっと高めたい。
D	ゲーム（デジタル機器）以外でも楽しむ方法
E	楽しみたい
F	すぐにSNSを使わずに、自分で何かを判断できる力
G	自然と触れ合いたい
H	記載なし
I	たくさん寝る
J	自然と触れ合いたい
K	睡眠
L	楽しくなりたい
M	記載なし
N	記載なし
O	記載なし
P	いつもより家族と話す時間を長くしたい
Q	家族と一緒に行動し、仲を深めたい。自然ともっと触れ合いたい。
R	家族と楽しみたい

（オフラインキャンプ実施後）

❸-36 今回のキャンプを通じて、❶講座❷オフライン体験(モルック・生き物探索・キャンプ) ❸家族時間 で得られたもの

A	❶メディアの危険性❷協力すること❸協力すること
B	❶LINEの時の注意❷外は楽しい❸家族時間が増えると心がやすらぐ
C	❶危険性（ネット）が分かった❷楽しかった❸楽しかった
D	❶ネットの危険性❷集中力、オフラインの楽しみ方と調理方法❸お笑い力
E	❶記載なし❷楽しかった❸楽しかった
F	❶最近学校でも教わったが、もう一度復習できた❷モルックは50点に届きそうで届かないもどかしさが良かった。生き物探索は初めて見る生き物もいて楽しかった❸普段よりよく話せた
G	❶メディアは楽しいけど間違った使い方をすると犯罪に巻き込まれる❷知らない人とも関われた❸一緒に料理をする楽しさ
H	❶記載なし❷楽しかった！❸楽しかった！
I	❶ネットの危険性がわかった❷楽しかった！サバイバル能力が鍛えられた❸話す楽しさ
J	❶インターネットの危険性❷自然での苦労❸家族と色々話せた
K	❶SNSの怖さ❷生き物の種類を知った（新しいことを知れた）❸家族で楽しんだこと
L	❶記載なし❷記載なし❸記載なし
M	❶記載なし❷記載なし❸記載なし
N	❶メディアの危険性❷自然の豊かさ❸家族で話す時間
O	❶記載なし❷記載なし❸記載なし
P	❶ネットの怖さや知識❷自分達で生きていく知恵・生き物との出会い❸互いを理解する時間
Q	❶誰でもネット依存になることがわかり、他人事と思わずにネットとの付き合い方を見直すことが大切だと思った❷生き物とたくさん触れ合うことで自然に愛着がわいた❸1日中デジタル機器を使わなかった分、家族と過ごす時間が増えたので、色々なことを話せて良かった
R	❶記載なし❷生き物を見つけるのが楽しかった❸とても楽しかった！

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

（オフラインキャンプ実施前）

❸-37 家族（親・子ども）との向き合い方で改善したい点

A	ない
B	あまりないです
C	とげとげ言葉をなくす
D	手伝い
E	ない
F	特になし
G	記載なし
H	記載なし
I	顔をよく見る
J	ケンカ
K	ない
L	記載なし
M	記載なし
N	記載なし
O	記載なし
P	妹とのケンカが多いので、ケンカを少なくするための方法を考えたい
Q	普段家族と一緒に過ごす時間が少ないので、この機会に家族と一緒に過ごす時間を作りたい
R	記載なし

（オフラインキャンプ実施後）

❸-38 今回のキャンプを通じて、今後の生活でデジタル機器の使い方や家族時間で改善したいと思った点

A	時間を決めて正しい使い方をしたい
B	なし
C	特になし
D	ゲームの時間を改善したい
E	ない
F	デジタル機器を使う時間をちょっと少なくしようと思った
G	スマホ等のルールが１つしかないので、３つくらいつくって守る
H	ない
I	家族みんなで過ごす時間を増やしたい
J	デジタル機器をはほどほどにする
K	デジタルはあまり使わないようにする
L	記載なし
M	記載なし
N	分からなかったら、本などで調べる
O	記載なし
P	もう少しルールを練り直し、勉強などで必要な時は使えるようにしたい
Q	まだ自分のスマホは持っていないが、テレビを見る時間が長く、家族と過ごす時間が短いので、メディアの時間を減らし、家族と色々な話をする時間を作りたい！
R	デジタル機器などは時間を決めて見るようにする

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【子供】
～ ❸オフラインキャンプ実施前後での変化（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：子供18人

（オフラインキャンプ実施前）

❸-39 キャンプへの意気込みや、目標など

A	たくさんの生き物を見つけたい
B	自然に目を配る。いろんな物を発見する。いろんな人と話す。
C	知らない人と仲良くなる！思いっきりたのしむ！友達を増やす！
D	デジタルデトックス！
E	健康になる
F	知らない人にもちゃんと話しかける
G	記載なし
H	記載なし
I	生き残る
J	いつもより仲良くなる
K	たくさん寝る
L	いやな気持にならない
M	記載なし
N	記載なし
O	記載なし
P	いつもはできない体験や自然との触れ合いを増やして、思いっきり楽しみたいです！
Q	普段家族と一緒に過ごす時間が少ないので、この機会に家族と一緒に過ごす時間を作りたい
R	楽しむ

（オフラインキャンプ実施後）

❸-40 キャンプ全体を通しての感想

A	いつもはデジタル機器を使う時間を友達や家族と話す時間にできた
B	友達も増えて良い経験になった！
C	スマホがなくても楽しいことが分かった。楽しかった！
D	おもしろかった
E	楽しくて健康に良い！
F	キャンプファイヤーができて楽しかった。サバイバルみたいな感じがして楽しかった！
G	知らない人でも関われて楽しかった！
H	楽しかった！
I	ゲーム以外での楽しさを知れた！
J	衣食住すべてにおいて、どうすれば良いかを工夫しながらできた
K	みんなと楽しく一緒に遊んだりして楽しかったです
L	楽しかった
M	記載なし
N	ひまな時間もあったけど、楽しかった！
O	記載なし
P	とにかく楽しかったです！いい勉強にもなりました。また、デジタル機器を使用しない機会を設けたりもしたいです。
Q	オフラインキャンプを通して、メディアに一切触れずに過ごしたので、今までよりも自然が好きになった！！
R	記載なし

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【各班】
～ ❹オフラインキャンプ後の生活（記述） ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
回答（参加）者数：10班（保護者1人が班を代表して回答）

❹-1 キャンプ後に、親子でデジタル機器の使い方、付き合い方に変化（改善）はありましたか？

項目	班数	割合
あった	10	100.0%
なかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
	10	**100.0%**

❹-2 家庭内でのデジタル機器の使い方でキャンプ後に、新たなルール等の設定、または見直しなどの変化はありましたか？

1	もともとのルールがあったが、子供がより意識するようになりました。
2	ルール設定というよりは、デジタル機器の使いすぎはよくないという意識の変化がありました。
3	新しくルールを設けようとしたところ、息子自らデジタル機器との関わり方を見直すようになりました。
4	土日はスマホ、ゲームの時間は減らし、親子でしっかり遊ぶようになりました。
5	まだ娘にはスマホを持たせていませんが、持たせるときには親子共々ルールを決めようと思います。
6	デジタル機器を入れるケースを買い、使用しない時間は視界に入らないようケースに入れるルールを作りましたが、充電を理由に入れなくなりました。
7	ゲームのプレイ時間を自分で意識して、考えるようになりました。
8	今までよりさらに意識的にデジタルオフの時間をとるようになりました。
9	Switch、スマホを長時間使用することを控えるようになりました。
10	我が家は規制が多いと思っていたので、他のご家庭の具体的な様子をお聞きして、デジタル機器のいい面を取り入れようと感じました。ただ講義にもありましたように、一旦緩めたものを元に戻すことは至難の業なので、塩梅が難しいです。試行錯誤を続けてみます。

❹-3 「オフラインキャンプ」後、お子様の様子や言動に何か変化があれば教えてください。

1	デジタル機器を使う時間を気にするようになりました。
2	ゲームよりも楽しいことがあれば、ゲームしなくてもいいや。と言っていました。時間の使い方を考えるようになりました。
3	お出かけのときはゲーム機を置いていくなど、意識して使わない時間を息子自ら設けるようになりました。
4	ゲームよりも体を動かしたり友達と遊びたがるようになりました。
5	キャンプ後に、キャンプで仲良くなった子と再会しても楽しくコミュニケーションできていました。
6	パパにご飯中のスマホを厳しく注意するようになりました。また、お米をといでくれるようになったほか、花火用のロウソクをマッチでつけれるようになりました。
7	オフラインで出来ることの楽しさを学べました！
8	デジタル以外の活動時間が増えました。
9	外で遊ぶ時間が増えた気がします。
10	デジタル機器使用の要望の仕方に変化を感じます。感情的になったり投げやりになって親を操作するのではなく、自分の意志を自分の言葉で表現する努力を感じます。逆に親も鍛えられます。子供の要望に対して、受け取りはするももの、返事を先延ばしにしていることを子供から指摘されました。迷って決めきらなかったのですが…お互いに言葉で表現するよう努力を続けていきます。

❹-4 「オフラインキャンプ」の参加をうけて、余暇（暇な時間）に、これまでとは違う過ごし方をしましたか？

1	家族で外で体を動かすことを意識し始めた
2	バドミントン、漫画を読む、掃除をする、洗濯物するといった「デジタル」から距離を置くようになりました。
3	元々好きだった工作をしたり、本を読んだりするようになりました。
4	家で暇だとゲームに手が伸びます。キャンプで、何かすることを与えることも親として大切だと実感したので、休みの日は何か用事を作って親子でとにかく極力外に出るようにしています。
5	スマホを見るのではなく、より読書や家族との会話をとるようにしました。
6	おでかけする時、Switchを持って行って、時間があればゲームをしていましたが、持って行かないようになりました。
7	なるべくネットなしの活動を選んでいます。
8	父親が子供と遊ぶ時間を取るようになりました。
9	暇な時間があれば、先に宿題などやらなければならない事をするようになり、規則正しい生活を送るようになりました。
10	長男が家族で過ごす具体的な遊びを提案してくるようになり、驚きました。また長男が家族会議（週一でメンバーがそろう時短時間）の議題を出したり、司会をしたりして驚いています。長女は家族メンバーの好きなことにアンテナを立てています。次女は自分の気持ちをいうよう努力していることが伝わってきます。

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【参加者】
～ ❺感想 ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
発表者数：27人

1	高校を卒業してから、10年前に萩に帰ってきました。そして、萩青年会議所の皆さんが、すごい萩に誇りを持って活動されているのを見て、**すごい誇らしく思い、嬉しく思いました**。ありがとうございました。娘と二人で初めてキャンプをしたのですが、**非常に印象に残る体験ができた**と思うし、**子供も大人になってから忘れることがないような体験ができた**と思っています。
2	JCの皆さんのおかげで、楽しいキャンプができました。ありがとうございました。
3	今回、仲良くしてくださった皆さん、JCIの皆さんのおかげで本当に楽しいキャンプを過ごすことができました。キャンプをしたこともあったり、キャンプでご飯作ったことあったけど、やっぱり自分たちで1から準備すると、すごく時間がかかったり、ぐったりすることもあるけど、今回本当に事前準備をたくさんしてくださったので、本当に楽しい部分だけできて、**じっくり親子で話したり**、あと、**初めて会う友達ともゆっくり遊べて、本当に楽しかった**です。おかげで携帯見るとか、そういうこともなく過ごせたので、良いなと思いました。あと、個人的**にLINEの返信だったりとか、見なきゃって義務的に思ってたところがあったけど、案外、そういう時間って無理に取らなくてもいいのかな**って今回思いました。
4	デジタル機器は、家で使う時間とか決まってて、頑張ってるけど、土日は結構やったりするから、それがもうなんか、キャンプでなくなって使わなくなったけど、**スマホの代わりにキャンプが楽しかったり、外で遊びが楽しく感じた**ので、帰ってもバトミントンとかして遊びたいです。
5	いつもは携帯とかを使ってばっかだったけど、**オフラインキャンプで携帯を使わずにやってもこれだけ楽しいということが分かりました**。
6	オフラインキャンプは面白かったです。料理を作ったり、あまりやらないモルックとかが結構楽しかったです。
7	やっぱり2人だけでは、体験には限界があるからいろんな同年代のお友達といろんなことができて、こうしてみようかっていう考えだったり、失敗したりとか、できたねとか、**いろんな褒め言葉が今回増えたかなって思って、お互いにとって良いことだった**と思います。
8	いつもは夜の暇なときとか、デジタル機器ばっかり使ってたけど、今回のＪＣの皆さんのおかげで、**携帯とかゲームとか、使わずにとても楽しく過ごせた**ので、うれしかったです。ありがとうございました。
9	今回１日を終えて、ロッジに戻った時に子供が「何か1日長かったなぁ」って言ったんです。**「いつもだったら、あっという間にスマホを見たり、ゲームしたりで過ぎていた時間が、今回は本当に長く感じた。今まで何か損してたような気がするな」**っていう言葉が出たので、私も本当にびっくりしてしまいました。それだけ**豊かな時間を過ごさせていただいた**んだなっていうのを、その言葉で本当に実感させていただきました。暑い中、準備や、いろいろサポートをしてくださったJCIの皆様には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。子供も**初めて会うお友ともすぐに仲良くなって**、モルックをしてみたりとか、カルタをしてみたりとか、**そういうことが出来て本当にうれしく思ってます**。そういうことができるんだなっていうのも、**新たな発見**でした。本当に皆さんお世話になりました。
10	キャンプは初めてだったんですけども、準備とかしていただいて、ストレスなく楽しいことが出来て良かったです。あと、子供は友達もでき、デジタルデトックスも本当にでき、これからも**今回のキャンプで学んだことを活かしていきたい**です。
11	JCIの皆さん、こういった機会を作っていただきありがとうございました。個人的な感想としては、久しぶりに地元の海に入れて、相変わらず綺麗な海で安心しております。これがこの先も未来永劫続くように、何か協力できることがあれば私もやっていきたいなと思います。このキャンプで**、様々な体験が本当に新鮮**で、子供の目にもいろんな体験が**今から一生残っていくんだろうな**と思っております。ただ１つ心残りが、気温と虫の関係で、私の家族はテントに泊まることを断念しているので、こういう機会がもしあれば、今度こそはテントに泊まって、これぞキャンプだというのをもう一度味わいたいと思っております。本当に、この2日間ありがとうございました。
12	私はキャンプらしいキャンプをすることがなく、JCIの皆さんのおかげでこういったキャンプができて感謝しています。ありがとうございました。
13	スマホを預かると聞いて、はじめはえっと思いましたが、覚悟を決めて預けて、鍵までかけていただき、良かったなと思います**。家でもそうしたい**と思います。子供も**最後にルールを見直そうという言葉が出てきて、自分から言ってすごいなと感動**しました。ありがとうございました。
14	このキャンプで**いろんな体験ができたし、知らない人と関わることができて良かった**です。デジタル機器は毎日、何時間も使っているから、**ちょっとずつ家族と関わる時間を増やしていきたい**と思います。
15	焚火とかが楽しかったです。
16	今回２日間本当にお世話になりました。中々家族だけでは、ハードルが高い焚火であったりとか、野外炊飯とかも、皆さんの準備のおかげで、ハードル低く本当に楽しいところだけ経験させていただき、本当に良かったです。やってみることが一番大事だと思うので、楽しいところだけしてみて、次はハードルを少し上げてやってみるという良いきっかけになったと思います。
17	こういった場を設けていただきありがとうございました。最初は子供たりが不満を言わないかなど心配していましたが、そういったこともなく、むしろ自然や料理作りなど楽しんでくれたので、すごく良かったなと思います。また、**子供たちが自主的に色々手伝っていたので、この機会で成長できた**のかなと思いますので、親としてもすごく満足しています。く思います。
18	この２日間、関わっていただいた方、用意してこられた方に感謝したいと思います。今回、スマホがない環境だったんですが、普段だと、あれなんだっけなとか、スマホで調べたくなっちゃうときがあるんですが、そのときに、そういえばねえなと思い、そういうときに、実は**今まで自分が持ってる知識とか考えが発揮される場**ではないかなと。普段、スマホなどない環境で色んなことを学んでいきたいなと思ってたんですが、今回、キャンプの中で、料理作りや火おこしなど経験ができて、すごい良い経験ができたんだなと思っています。
19	行く前は、お母さんとお父さんに言われて、絶対行きたくないと思っていました。でも行ったら、楽しめました。JCIの皆さんありがとうございました。
20	生き物とかを調べるときに、自分は**いつもスマホなどを使っていたけれども、10年ぶりとかに図鑑を見て、いい機会になりました**。多分スマホはもう封印しないので、いい機会になったと思います。

「オフラインキャンプ」アンケート結果 【参加者】
～ ❺感想 ～

実施日時：2025/7/19～20
実施場所：須佐湾エコロジーキャンプ場
発表者数：27人

21	皆さん、２日間ありがとうございました。そして、JCの皆さん準備から大変だったと思うんですけど、このような場を設けていただき本当にありがとうございました。本当にスマートフォンから離れて２日間おりましたが、ちょっとふとした時間があれば、携帯を探そうとしている自分に気づいて、**本当にスマートフォンに依存しているんだなって改めて実感**しました。意外に子供たちの方が終始色んな体験をする中で、スマホとは言わずに、大人の方が依存してるんだなと思いました。そして、暇な時間にスマートフォン普段使っていたのが、スマートフォンがないということで、自分たちの頭で考えて、この時間はちょっと服を片づけようとか、シーツを片づけようとか、計画的に規則正しい生活が久しぶりにできたなと改めて思います。本当にスマートフォンにルールを設けて、やることをやって、それが終わってからスマートフォンを見ようとか、そういうルールを設けることによって、規則正しい生活ができ、より毎日の日々の生活で空いた時間ができて、勉強したり、遊んだりすることができるのかなと思いますので、そういう**ルールを設けて、これから、2日間のキャンプをきっかけに変えていけたら良い**なと思いました。本当にありがとうございました。
22	たまには、スマホとかを見ずにキャンプとかをしたりするのは楽しいと思いました。
23	今回、JCの皆さんが企画してくれたオフラインキャンプをして**、自然豊かな萩市を感じることができました**。
24	JCIの皆さん、暑い中、準備等大変だったと思いますけども、子供たち、私にとっても、**夏休み初日から良い思い出になりました**。大変ありがとうございました。普段でも料理をするにしても、電子レンジでスイッチ1つ押せば、物料理も温まりますけども、今回のキャンプで、１から火起こすといったところが、自然と触れ合うっていうのは、本当に子供たちにとっても、**ずっと残る思い出になった**と思いますので、本当に良い思い出と経験させてもらったと思います。ありがとうございました。
25	デジタル機器がなくても、**オフラインキャンプは楽しい**と思いました。
26	デジタル機器を生活の中で使わなくても、焚火やモルックをしたりとか、すごい楽しいことができて良かったです。普段は、子供たちでずっとテレビを観ているので、**テレビを見る時間を減らして、家族で関わる時間をもっと増やしたい**と思いました。ありがとうございました。
27	最初の頃は、ゲーム機どこだと探していましたが、同世代の人やちょっと年下の子供たちとかと話したり、遊んだりするうちに、テレビやスマが木なくても、こんなに楽しいんだなって思いました。だから**今日も帰っても、できるだけデジタル機器と触れ合わないようにしたい**です。ありがとうございました。

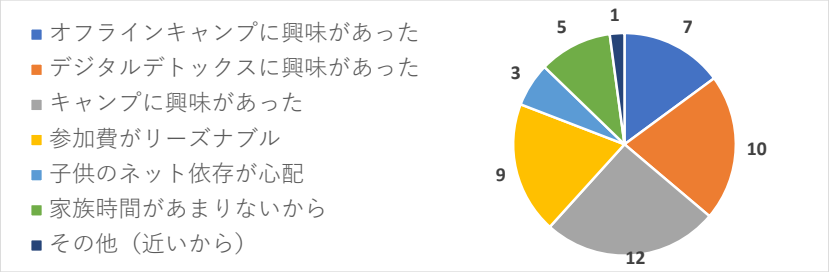
「オフラインキャンプ」アンケート結果 【全応募者】
～ ❻応募に関して ～

募集期間：2025/6/4～27
募集場所：市内小中学校・店舗・公共施設等
申込者数：14組（55人）

❻-１ 参加しようと思った理由

項目	回答数	割合
オフラインキャンプに興味があった	7	50.0%
デジタルデトックスに興味があった	10	71.4%
キャンプに興味があった	12	85.7%
参加費がリーズナブル	9	64.3%
子供のネット依存が心配	3	21.4%
家族時間があまりないから	5	35.7%
その他（近いから）	1	7.1%

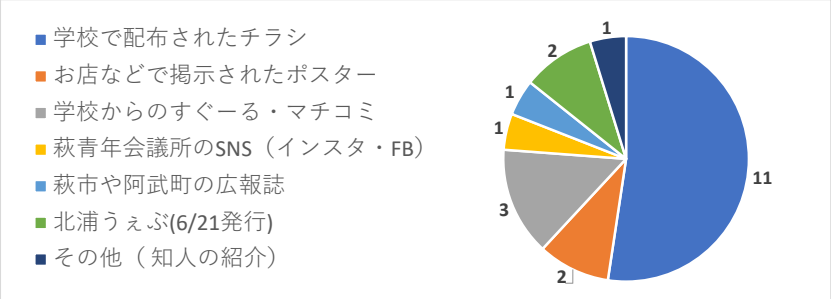
※選択肢から複数回答



❻-２ オフラインキャンプをどこで知ったか？

項目	回答数	割合
学校で配布されたチラシ	11	78.6%
お店などで掲示されたポスター	2	14.3%
学校からのすぐーる・マチコミ	3	21.4%
萩青年会議所のHP	0	0.0%
萩青年会議所のSNS（インスタ・FB	1	7.1%
萩市や阿武町の広報誌	1	7.1%
北浦うぇぶ(6/21発行)	2	14.3%
その他（ 知人の紹介）	1	7.1%

※選択肢から複数回答



❻-３ キャンプの経験

項目	回答数	割合
コテージでの宿泊経験あり	6	42.9%
テントでの宿泊経験あり	2	14.3%
BBQなどの日帰り利用経験あり	7	50.0%
キャンプ未経験	3	21.4%
その他	0	0.0%

※選択肢から複数回答